

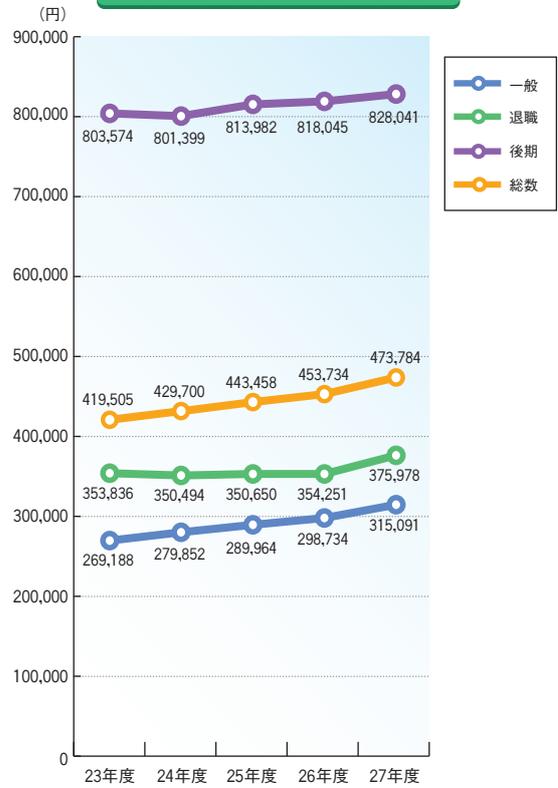
栃木県



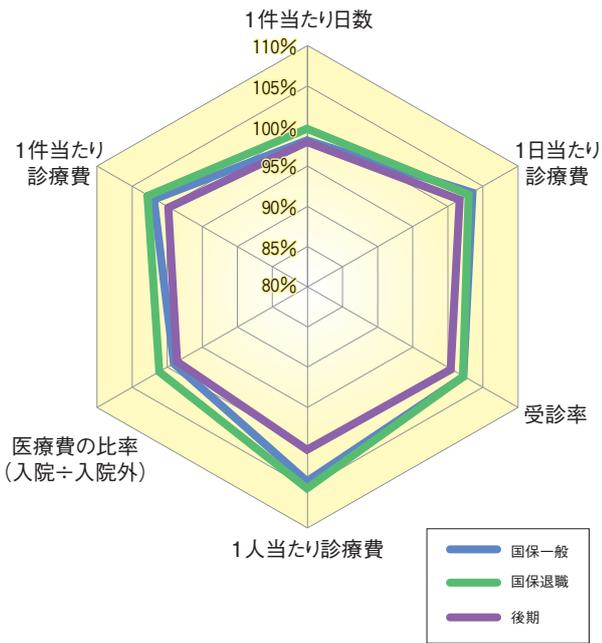
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

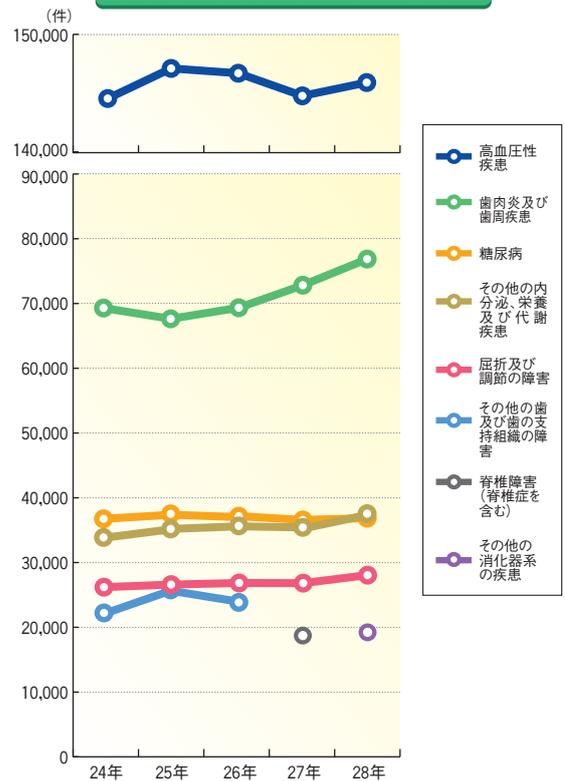


平成27年度 3要素と医療費諸費(前年度比)



このグラフは、諸率を前年対比して得た値をレーダーチャートにしたものです。

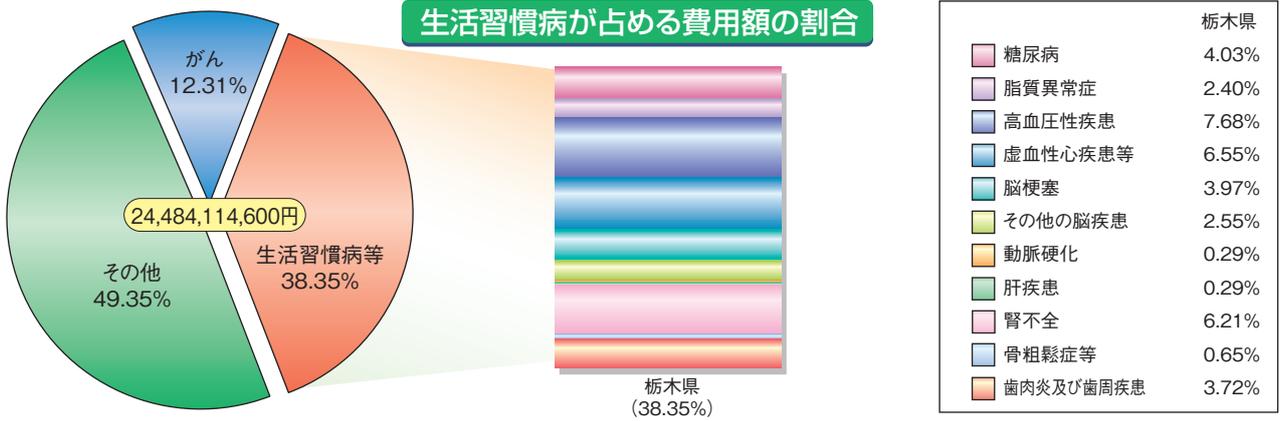
多受診疾病上位6位の推移



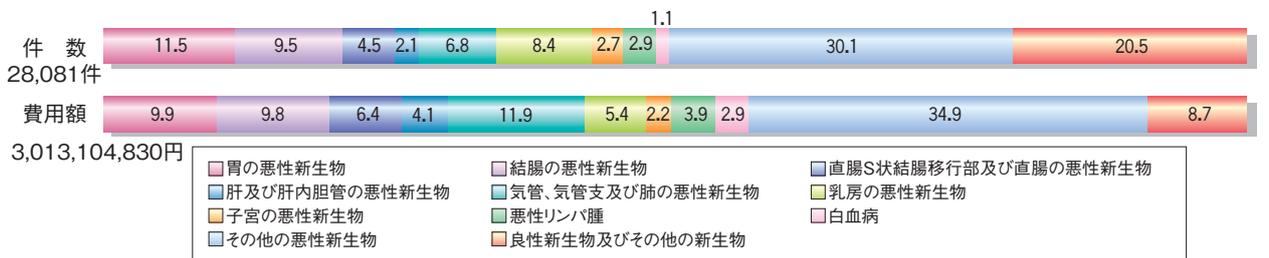
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



栃木県の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般165,138,667千円(103.4%)、退職9,068,205千円(81.6%)、後期199,918,423千円(103.5%)で、全体では374,125,295千円(102.8%)と増加している。()は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は789,653人(98.4%)で、内訳は一般524,099人(98.0%)、退職24,119人(76.9%)、後期241,435人(102.3%)である。

また、平成27年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は473,784円(20,050円増)、一般は315,091円(16,357円増)、退職は375,978円(21,727円増)、後期は828,041円(9,996円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の前年度比のレーダーチャートを見ると、一般、退職、後期共に1件当たりの日数は減少しているが、1日当たりの診療費及び1人当たりの診療費、受診率、1件当たりの診療費は増加している。

★疾病の状況

平成28年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の消化器系の疾患で、過去5年上位5疾病に変動はないが、2位の歯肉炎及び歯周疾患の件数は近年、増加傾向にある。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、高血圧性疾患・脂質異常症・糖尿病については過去5年で最も高い構成値となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が24,484,114,600円で、がんが12.31%、生活習慣病関連が38.35%を占めている。生活習慣病関連で占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患7.68%、虚血性心疾患等6.55%、腎不全6.21%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、費用額では、気管・気管支及び肺悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

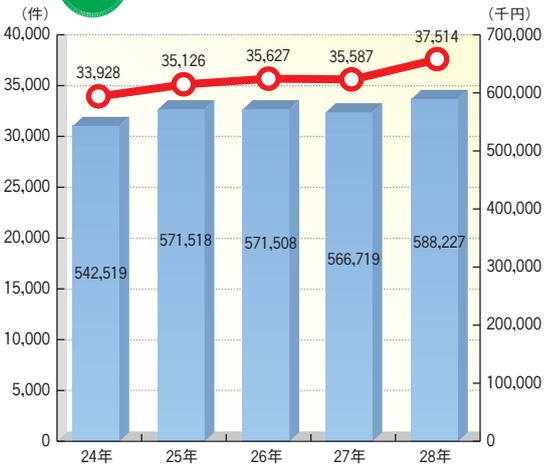
1位 高血圧性疾患



2位 歯肉炎及び歯周疾患



3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



4位 糖尿病



5位 屈折及び調節の障害



6位 その他の消化器系の疾患



1人当たり
診療費(円)

受診率と1人当たり診療費の相関図

